

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	総合臨床実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	320 (8) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	実習施設
担当教員	学科教員	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>評価実習の内容に加え、対象者の障害像の把握、治療目標および治療計画の立案、治療実践ならびに治療効果判定等を学ぶ。実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨床実習が望ましく、様々な疾患・状態の対象者を数多く経験し、経過の観察を通じて理学療法士の効果を学ぶ。また、診療録等への記載方法やカンファレンスへの参加など、様々な理学療法業務についても理解を深める。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>総括的評価とし、①出席状況、②臨床実習中の状況、③ソーシャルスキル(ルーブリック評価)④チェックリスト ⑤実習後の提出課題内容、⑥実習後の報告会の内容を総合的に評価する。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
出雲医療看護専門学校 理学療法士学科 実習要項						
《授業外における学習方法》						
<p>実習施設の実習時間は1単位を40時間(320時間)とする。ただし、家庭で行う自己学習を行う場合は、この限りではない。自己学習は、これまでに学んだ基礎医学、臨床医学、専門知識、検査技術とする。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<ul style="list-style-type: none"> 臨床実習指導者は、5年以上実務に従事し、かつ臨床実習指導者養成講習会を修了した者が担当 臨床実習20単位のうち14単位以上は病院または診療所、介護老人保健施設で行うこと。その内、7単位以上は病院または診療所となる。また、訪問リハビリテーションまたは通所リハビリテーションでの実習は臨床実習20単位の内1単位以上を行うこと。 						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
臨床 実習 形式	授業を 通じての 到達目標	<p>見学実習・検査測定実習・評価実習の到達目標に加え以下の項目を到達度とする</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の指導・助言のもと、対象者の治療目標を設定し、その設定根拠について説明できる。 指導者の指導・助言のもと、理学療法プログラムを選択し、その根拠について説明することができる。 一連の理学療法の過程について記録することができる。 理学療法の効果を確認、記録し、その内容について説明することができる 		実習要項	実習での経験を振り返り自宅に必要な準備や自己研鑽の学習を行う。	
	各コマに おける 授業予定	総合臨床実習(320時間:8時間×5日間×8週間)				